

平成 25 年 5 月 15 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

コーポレート・ガバナンス態勢の強化について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（取締役社長 ^{ひらの のぶゆき} 平野 信行、以下 MUFJ）は、コーポレート・ガバナンス態勢の強化に向けて、組織の新設を行うこととしましたので、お知らせいたします。

1. リスク委員会の新設

当社では、取締役会傘下の任意の委員会として、社外取締役を委員長とし、過半数を社外委員で構成する監査委員会、指名・報酬委員会を設置する等により、「社外の視点」を重視した公明正大で透明性の高いコーポレート・ガバナンス態勢を構築しておりますが、今般、その一層の充実とリスク管理態勢の更なる強化の観点から、平成 25 年 7 月を目途に、新たにリスク委員会を設置することとしました。

リスク委員会において、社外取締役および社外専門家が主体となり、各種リスクの状況やその管理・運営等に関する重要事項を審議し、取締役会に提言・報告を行うことで、取締役会の機能強化を図ります。

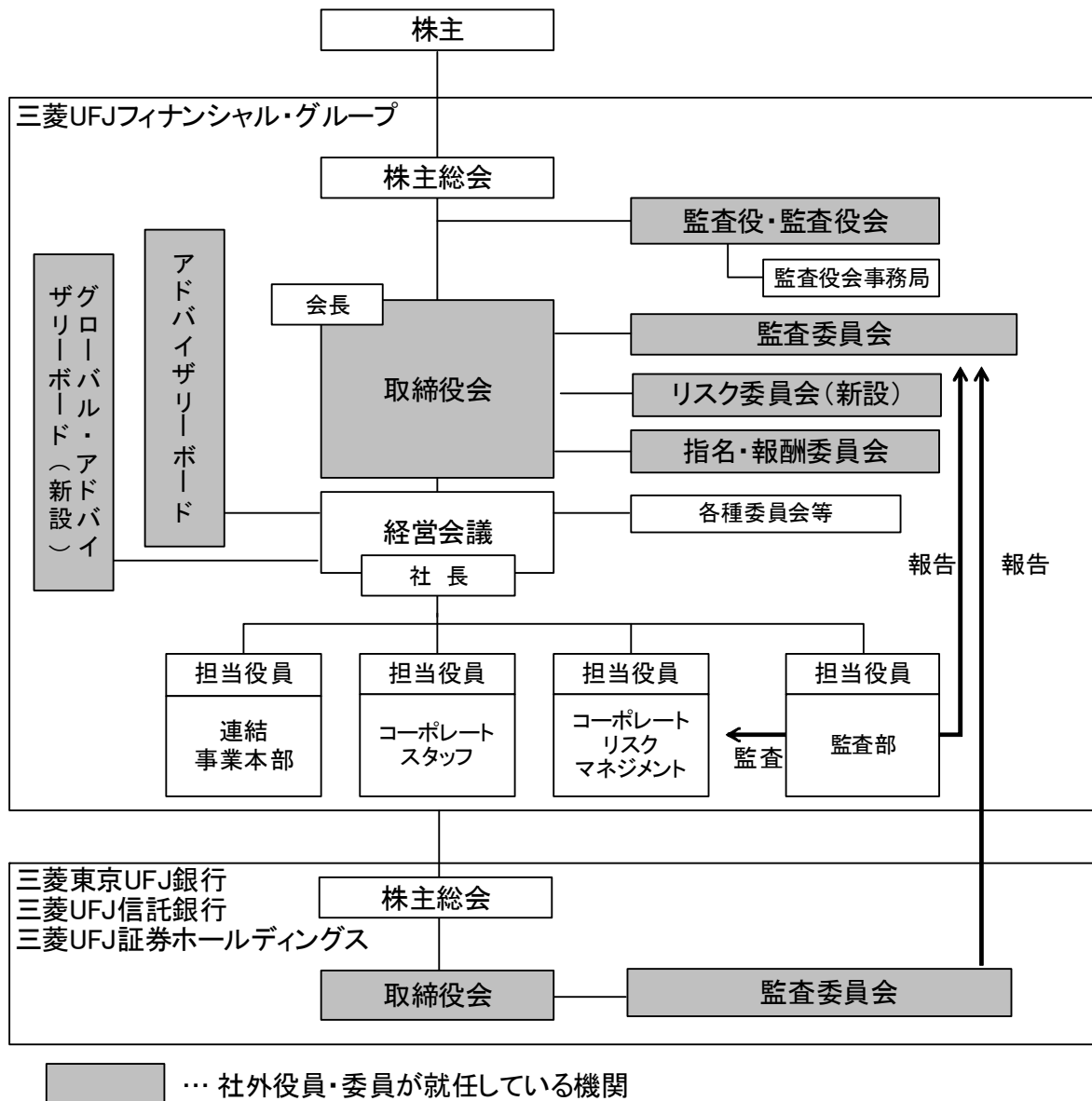
【リスク委員会の概要】

位置付け	取締役会傘下の任意の委員会
委員長（予定）	^{かわもと ゆうこ} 川本 裕子 早稲田大学大学院ファイナンス研究科 教授 (平成 25 年 6 月 27 日付で当社取締役に就任予定)
構成	過半数を社外取締役および社外専門家により構成
審議事項	各種リスクの状況やその管理・運営等に係る重要事項

2. グローバル・アドバイザリーボードの新設

当社では、従来、経営会議の諮問機関として、国内の社外有識者から成るアドバイザリーボードを設置し、事業戦略や業務計画等の経営上の重要な課題について、有識者から提言・助言を受けてきましたが、今般、平成 25 年 7 月に、新たにグローバル・アドバイザリーボードを設置することとしました。グローバル・アドバイザリーボードでは、欧・米・アジア各地域の企業経営や金融規制・政府関係における有識者を委員として 5～6 名を招聘し、MUFJ グループのグローバル企業としてのガバナンス・事業戦略等について、独立した立場からグローバルな視点で提言・助言をいただき、MUFJ の経営に活かしてまいります。

MUFGは、事業のグローバル化を進めるとともに、引き続きガバナンス態勢の強化と経営体制の高度化を進めることで、「世界に選ばれる信頼のグローバル金融グループ」の実現に向け努力してまいります。



以上